




溶連菌感染症の治療を受けられる患者様へ

かとう小児科

	初診日	再診日	再検査について
月日	月 日 ()	月 日 ()	
お薬	<p>抗生剤()が1日()回()日間で、他の薬は1日()回()日間で内服して下さい。</p>	<p>残りのお薬を()日間処方させていただきます。</p>	<p>有効な抗生剤を10日間服用後、3～4日以降に、溶連菌がのどから消えたかどうか、再検査することが望ましいです。</p>
診察・検査	<p>溶連菌感染症の疑いのある方は、別室でお待ちいただくことがあります。</p> <p>必要に応じて溶連菌抗原検出用試薬にて行います。</p>	<p>この日もまだ別室でお待ちいただきます。</p> <p>抗生剤が効いているか、登園、登校してもいいか診せていただきます。</p> 	<p>* ただし、結果によっては費用が自費になる場合があります。</p> <p>1 再検査の結果が陰性(溶連菌が検出されなかった)の場合、検査代が自費になります。</p>
経過	<p>発熱、のどや扁桃が真っ赤になり、痛みがあります。腹痛や嘔吐を伴うこともあります。</p>	<p>ひどくなると・・・</p> <p>細かく赤い発疹が出ます。舌の表面のザラザラした部分がブツブツ赤くはれ、いちごのようになりますこともあります。</p>	<p>2 再検査の結果が陽性(溶連菌がまだ残っている)の場合、検査代は医療保険を使えます。</p>
食事	<p>味の濃いもの、固いもの、熱いものなどはのどにしみますので注意して下さい。</p>		<p>3 再検査を受けない場合、発熱・のどの痛み・腹痛・嘔吐・痒みを伴う細かい発疹が現れたら、医療機関を受診して下さい。溶連菌感染症にかかっていたことを医師に告げて、診察してもらってください。</p>
入浴	<p>発熱している間は、体力の低下を防ぐためにも避けて下さい。</p>	<p>平熱に戻り、体力が回復してから。</p>	
登園・登校のめやす	<p>出席停止扱いになりますので、園や学校へ連絡して下さい。</p>	<p>登園、登校基準は平熱に戻り、有効な抗生物質を1～2日内服できてからとなっています。治療証明が必要な方は園や学校所定の用紙をこの日に持ってきて下さい。</p>	<p>再検査を受けられる場合 再検査の日は、 月 日 ()です。 この日に腎臓の合併症がないか尿検査を行います。</p> <p>* 再検査を受けない場合でも内服終了後2週間以内に尿検査を受けてください。 月 日 ()</p>